

2022年9月  
清水一智子

## ロータリー月例報告 留学先:イタリアFirenze

今月はコンセルバトリーオPiacenzaの受験がありました。イタリアの音楽学校に行くためには実力はもちろん大事ですが、その学校の先生に習っていたリコネを持っていることがとても大切になってきます。今回は、その学校の先生にレッスンしていただける機会を運良く作っていただけることになり、行ってきました。しかしその先生はもう来年度にはご退職されて他の学校に行ってしまうということが分かり、受験には深く関わらないとのことで、少し失敗でした。しかし、もしPiacenzaに落ちてしまったとしても、来年度からミラノの学校に行くから、もしあなたがわたしに習いたいならぜひミラノに来なさい、と言って頂けてとても良い出会いになりました。Piacenzaの結果は、補欠合格という形で終わり、追加合格の電話を待っていたのですが、来ないまま10月になってしまいました。残念です。これで私の受験は終了しました。滞在許可証が切れる頃には日本に帰らなければなりません。

8月、9月は通っているUniversità di Firenze corso di stranieri が休暇期間なので、価格の安い学校を知り合いから教えてもらい、その学校に通っています。その学校がとても良くて、新しい友人も沢山できました。まず、日本人が他にいないことが、わたしにとってはとてもメリットです。価格が安い分、南米のコロンビアやチリ、ブラジル、東南アジア、中国の方が多いです。スペイン語とポルトガル語を話す友達ができて、とても興味深い話を聞くことが出来ました。イタリア語とスペイン語はとても良く似ていて、お互いに母国語を話していてもなんとなく話が伝わるとも言われています。しかし実際に正しく学ぶと、文法的にはポルトガル語、フランス語の方がイタリア語と近く、スペイン語は文法や助詞の使い方が違うため、とても難しいそうです。その分、日本語は唯一無二の言葉なので、1から違う言葉を学ぶのは全てが新しいことなので、ある意味学びやすいのかもしれないと思いました。

音楽学校受験の話に戻りますが、Piacenzaの試験がダメだったことを先生に伝えたところ、アジアの人は特に音楽学校に行くことが一番大切だとこだわっているが、イタリアで歌ってるプロの方でも音楽学校を出てない人もたくさんいる、歌が上手になることが大切だから、国際コンクールに出て経験を積んでみよう！ということになり、10月6,7,8日にPienza(Piacenzaと似ていますが全然違う街)で行われるコンクールに参加してきます。目標は一次予選突破です。そして、もちろん今の自分にできる最高のパフォーマンスを発揮することを大切におちついて頑張りたいと思います。

写真は、

よく勉強している図書館からのドウオモ。

日が短くなってきて夕陽の時間が増えたのでとても綺麗に撮れたピツティ宮殿。

新しい語学学校の仲間たちと。









